会員のひろば

北海道医報では、特定の個人・団体を誹謗、中傷する内容等を除いた幅広い多様性のあるご意見を掲載させていただいております。

トルコ旅行

恵庭市医師会
産婦人科・小児科クリニック　リブ
菊川（きくかわ）　美一（よしいち）

仲間内で集まると、よく話題に上るのが「人生を楽しもう」という話です。私は66歳ですが、この年齢になると知人の訃報や大病を患った話が耳に入ることが多くなります。健康寿命が、さほど多くは残されていないことを身近に感じ、健康なうちに楽しく暮らしたいと思っています。私の場合、没頭できる趣味もなく、今の所、「人生の楽しみ＝旅行」になっています。

この春、西洋と東洋の文化が交わるエキゾチックな国で、是非一度行きたいと思っていた「トルコ」に行ってきました。零細クリニックなのに長期間休んで大丈夫か？との不安もありましたが、今年のゴールデンウィークを10連休にして、夫婦で旅行しました。中東情勢は不安定性を増しており、今のうちに行っておこうと決断しました。

観光した場所は、エフェソス遺跡、パムッカレ、カッパドキア、イスタンブールです。トルコのあるアナトリア地域の歴史は古く、紀元前10000年の遺跡もあり、世界で一番古い文明とも言われています。１日目は、エフェソス観光からです。エフェソスは、紀元前11世紀に建築した港湾都市を起源とし、残っている遺跡はローマ時代のものが多く、聖母マリアが余生を送った地としても有名です。クレオパトラとアントニウスが歩いたと言われている街道が残っています。この日は、パムッカレ迄行き、石灰棚を見ました。雪が積もったような石灰の上に温泉水が流れ、そこを裸足で歩くのです。ヌルヌルして転倒しそうでチョット怖い体験でした。

２日目はコンヤを通ってカッパドキアまでバスで630km、８時間半の移動です。カッパドキアでは洞窟ホテルに２連泊しました。洞窟なのでジメっとしたイメージだったのですが、部屋は広くて３部屋あり、カラッとしていました。標高1,200mで夜は寒いのですが、パネルヒーターが付いており暖かい部屋でした。ホテルは高台にあり、夕方に明かりが灯ると、素晴らしく美しい景色でした。

３日目は、奇岩などを見て１日中カッパドキア観光でした。絨毯の店に寄り、高いと思いながらも自分たちへのお土産にトルコ絨毯を購入。１か月後自宅に届いて、再度見てみても良い買い物だったかな、と思っています（本当の所は分かりませんが…）。

残りの３日間は、イスタンブール観光です。歴史地区は、とにかく歩いて観光。アヤソフィア、ブルーモスクは行列で、それぞれ２時間待ち、１時間待ちでした。トプカプ宮殿も混雑していましたが、見る価値のある場所ばかりです。スレイマニエ・ジャーミー、リュステム・パシャ・ジャーミーでは、人が少なくゆっくりくつろげ、赤絨毯に座りモスク内を眺めていました。日本の寺院のように荘厳で宗教観をひしひしと感じます。コーランを無料配布していたので、日本語版（文庫本サイズ、597ページ）を頂いてきました。バザールでお土産を買い、ガラタ橋で鯖サンドを食べ、ボスポラス海峡クルーズに参加、一通りのお上りさん行事を済ませ、満足してイスタンブール観光は終了しました。トルコの為替レートはすごく変動していますが、現地を歩いているとそんなことを感じさせないほどの活気がありました。食事も美味しく（トルコのフレッシュオレンジジュースは美味しい）、比較的安全で、衛生面も良く、トルコ旅行は良い旅でした。もし来年も夫婦ともに元気なら、また海外旅行をトライしたいと思っています。